

中央設計技術研究所
創業70周年、17年度入社式



中央設計技術研究所 (金沢市、中辻英一社長) は3日、17年度入社式を同社本社で執り行った。

同社の中期経営計画では2020年に売上高30億円、社員210人体制を目指しており、17年度は例年より多い11人(男性7人、女性4人)の新入社員を迎えた。

式では、中辻社長が新入社員一人ひとりに辞令を交付後、「当社は本年創業70周年を迎える。その歴史を考えると、上下水道コンサルタントとしての実績や技術は地方に居ても

大手他社に引けを取らない。会社には無駄な仕事はなく、何事にも付加価値を付けて取り組み、会社とともに成長してほしい」と激励。続いて役員紹介、先輩社員が「当社の行動指針である失敗を恐れず果敢に挑戦してほしい」と歓迎の言葉。

それに対して、新入社員を代表して藤澤美希さんが「自己啓発に取り組みながら、日々成長していきたい」と力強く抱負を述べた。写真。

また、同社では70周年記念事業の一環として、4月1日付で選択性の企業型確定拠出年金を導入し、社員の福利厚生の上を図った。